

新型コロナウイルス感染症の最近の展開



外科・感染症科 大江秀典

この原稿を書いている8月現在、全国で新型コロナウイルス感染症の拡大が続いています。いわゆる第5波です。市立大津市民病院においても多くの患者さんが入院されたり、外来受診をされています。昨年末に稼動開始しました感染症ERについてもフル稼動がつづいています。



第5波の現時点での特徴としては、高齢患者さんが少なく比較的若い患者さんが多いことがあげられます。特にいままで陽性者の少なかった小児が目立つ印象です。65歳以上のワクチン接種が進んでいることが大いに貢献しているかと思われま

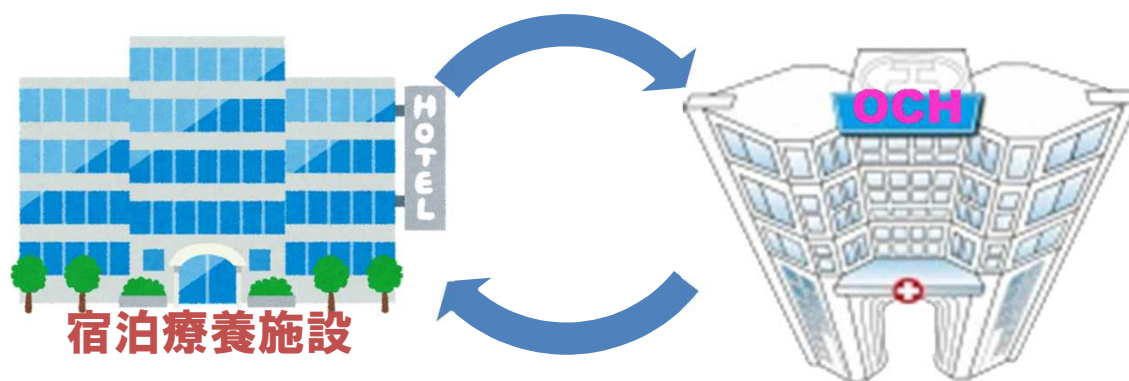
す。このことは現場の負担軽減になっており、ワクチン接種にご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。



小児の感染がみられていますが、幸い重症化することもなく皆さん元気に退院されています。ただ、親御さんの心配は重いところですので、家族内感染を予防していくためにも、会食などの感染リスクが高い行動については引き続きご注意くださいといところす。



治療についても7月に抗体カクテル療法が行えるようになりました。当院でも呼吸器内科平沼修診療部長の指導の下、積極的な使用をすすめています。よい手応えがあるとの現場感覚で、入院患者さんだけでなく、リスクがあり症状軽度の宿泊療養者についても、宿泊療養施設と連携し治療がおこなえるように体制整備をおこなっています。治療経験が蓄積すれば皆様に還元し、滋賀県全体で治療がおこなえるようにすることが目標です。



まだまだ地域の皆様のご協力が必要な状況ではありますが、今後とも宜しくお願いいたします。